

学位プログラム DP レビュー

2022 年度 人間形成学科

1. 現況の説明

①授業実施評価レポート

成績評価アンケートの結果は、10～25%程度の学生が「一つ二つ」の科目について、透明性、客観性、妥当性、公平性のいずれの項目についても成績評価の不满を感じているようであった。そのうち、特に透明性、客観性についての低評価がやや目立ったことに加え、妥当性の不足に関しては、3年次の学生1名が複数の授業において妥当性に不足を感じていることが示された。学科において検討した結果、1名のみが複数の授業において妥当性に不足感を抱いていることは、この学生が、教員から提示された評価基準を十分理解できていない可能性もあると考えられた。成績評価の透明性、客観性への不満が全学年でやや目立ったことも踏まえ、全体に向けてより丁寧な成績評価に関する説明をしていくこととした。

成績分布を確認したところ、人間形成学科における成績分布には特段の問題は認められないと判断された。具体的には、「不可」が多い科目は特になかったことに加え、成績S評価が受講者の3分の2を超えていた2科目についても、いずれも学生の取り組みが良好かつ試験の結果やレポートの内容が優れていたことが担当教員への聞き取りによって確認されたためである。

学生からの指摘のあった科目については、評価基準、課題の提出日、提出場所の具体的な指示及び説明、シラバスに準拠した授業の実施などの改善を依頼した。また1科目については、担当者を変更した上で、これまでの成績評価についての学生からの指摘内容を新規担当者に伝達し、配慮いただくようにした。

②DP アンケート

全項目の平均得点は5点満点中4.29という結果であった。ただし「5. 文献や調査、実験などを通して導いた自分の考えを適切に表現する」ことおよび、「10. 様々な立場にある人々に対する心理的または教育的な援助のスキルの修得」という2項目において、3.8、3.9というわずかに低い結果となった。2021年度心理コースの卒業生は、公認心理師資格に係る心理実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを全て履修した初めての学年だった。実習を通して心理的支援の難しさを、身をもって体験したことにより、DP アンケートの上記の項目の得点が下がったことが一つの可能性として考えられる。これらの項目が今後低下の傾向になっていくのか、もしくは今年度のみ結果だったのか注意深く観察するとともに、5、10に直接関連する科目である卒業論文、演習、実習における指導を充実させていくこととした。ただし、自由記述の回答は、すべてが学生の高い満足度を示す内容であった。

③進路・資格試験・留年・退学状況

卒業生の進路としては、61名の卒業生のうち54名の進学・希望者（就職44名・進学10名）は、全員進路が決定した。就職率、進学率とも100%となり非常に良好であると言える。44名の就職先は、「幼稚園・保育所」が22.7%（10名：公立15.9%（7名）、私立6.8%（3名））、「民間企業・団体等」が38.6%（17名）、「官公庁等」が4.5%（2名）、「社会福祉施設等」が27.3%（12名）、「教員」が4.5%（2名）、「病院・診療所」2.3%（1名）、「大学院・専門学校等進学」が100%（10名）となっている。以上の進路・進学は本学科の「人間の心身の形成過程と教育およびその諸問題に関する総合的な研究・教育を行い、保育・幼児教育または生涯にわたる心理臨床などに携わる専門的な人材を育成する」という設置目的と一致する傾向として評価できる。

こどもコースにおける保育士、幼稚園教諭一種免許状においては、21名全員が両方の資格、免許を取得した。

退学者においては、2年次2名、3年次1名であった。従来と異なり、2、3年生の退学者が多かったことが特徴であった。2020年度以降の新型コロナウイルス感染症による授業形態の変更や生活状況の変化等を要因として、精神的健康や進路への迷い等から授業参加が滞っていた一部は休学学生が、令和3年度に退学するに至った結果と考えられる。授業参加が滞っている学生や休学中の学生に対して、本人の状態に配慮しつつ可能な範囲で大学との接点を維持することにより、不本意な退学を避けるための支援を行っていく必要がある。

留年者は、2021年度は4名であり、昨年度より1名増加となった。理由は、退学者と同様の理由と考えられ、本人の状態に配慮しつつ支援を継続していくこととした。

2. 2021年度対応プランの結果

2021年度は、「1年生に対する入学時オリエンテーションおよび、各学年の初回授業でのより丁寧な成績評価に関する説明」、「定期試験が実施できない場合を見据えた、適切な難易度のレポート課題の準備」の課題があった。入学時オリエンテーション、各学年の科目においても丁寧な説明を行った。定期試験実施の際の課題については、緊急事態宣言等対面での成績評価の為に試験が実施できなくなる可能性を踏まえ、レポート課題等を準備していたが、実際は、対面での試験を行うことができた。しかし、今年度における成績評価アンケートにおいては、10~25%程度の学生が「一つ二つ」の科目について、透明性、客観性、妥当性、公平性のいずれの項目についても成績評価の不满を感じているようであった。そのため、さらなる改善の対応を継続して実施していくこととなった。

進路・進学については、大学院への進学希望学生に対して研究計画書の作成をはじめとした受験対策指導を、より丁寧に行うことを課題として挙げたが、進学率は100%となり、この対応は功を奏したといえる。また、留年者については、引き続き学生相談等と連携し、より細やかなフォローを継続的に行っているところである。

3. 今回の課題と対応プラン

①授業実施評価レポート

成績評価の透明性、客観性への不満が全学年でやや目立ったことが課題であった。今後の対応プランとして、全体に向けてより丁寧な成績評価に関する説明をしていくこととする。

②DP アンケート

DP アンケート結果の「5. 文献や調査、実験などを通して導いた自分の考えを適切に表現すること」および、「10. 様々な立場にある人々に対する心理的または教育的な援助のスキルの修得」という2項目において、3.8、3.9 というわずかに低い結果となった。この理由として、2021 年度心理コースの卒業生は、公認心理師資格に係る心理実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを全て履修した初めての学年だったことが挙げられる。実習を通して心理的支援の難しさを、身をもって体験したことにより、DP アンケートの上記の項目の得点が下がったことが一つの可能性として考えられる。まずは上記2項目が今後も低下したままなのか、もしくは今年度のみ結果だったのか注意深く観察し、この背景にある課題を見極める。また暫定的な対応として、5、10に直接関連する科目である卒業論文、演習、実習における指導を充実させていくこととする。

③進路・資格試験・留年・退学状況

退学者、留年者の継続的な微増が課題である。背景には 2020 年度以降の新型コロナウイルス感染症による授業形態の変更や生活状況の変化等の要因が考えられた。今後も授業参加が滞っている学生や休学中の学生に対して、本人の状態に配慮しつつ可能な範囲で大学との接点を維持し、不本意な退学、休学を避けるための支援を行う。

4. DP 達成状況のまとめ

以上、本学位について、成績分布は、学科としては特に問題なかった。一方学生の成績評価アンケートについては、透明性、客観性、妥当性、公平性についていずれも不満を感じている学生が存在したことから、2023 年度は全体に向けてより丁寧な成績評価に関する説明をしていくこととした。さらに、DP においても学生に対する DP アンケートの結果では全項目の平均得点は5点満点中4.29という結果であり、良好な状況であるといえる。しかし一部4点を切る結果もあった（5. 文献や調査、実験などを通して導いた自分の考えを適切に表現する」、「10. 様々な立場にある人々に対する心理的または教育的な援助のスキルの修得」）。当該質問項目に直接関連する科目である卒業論文、演習、実習の指導を充実させていくこととした。

添付資料

- ・DP アンケート

- ・ 進路、資格試験、留年、退学状況（資料はこちらをクリック）
- ・ 授業実施評価レポート

人間形成学科ディプロマ・ポリシーアンケート結果報告

1.ディプロマ・ポリシーアンケートの結果

質問項目	平均値
1. 入学時に比べて、教育学（保育・幼児教育を含む）または心理学に関する専門的知識が身についたと思いますか。	4.79
2. 入学時に比べて、教育学（保育・幼児教育を含む）または心理学における援助のあり方を理解できるようになったと思いますか。	4.40
3. 入学時に比べて、教育学（保育・幼児教育を含む）または心理学に関する現代的課題について考察することができるようになったと思いますか。	4.40
4. 入学時に比べて、教育（保育・幼児教育を含む）または心理に関する諸問題に対して適切な対応を検討できるようになったと思いますか。	4.44
5. 入学時に比べて、文献や調査、実験などを通して導いた自分の考えを適切に表現することができるようになったと思いますか。	3.88
6. 入学時に比べて、教育（保育・幼児教育を含む）または心理に関する課題を抽出し、探求することができるようになったと思いますか。	4.19
7. 入学時に比べて、教育学（保育・幼児教育を含む）または心理学に関するスキルを社会に活かしたいと思いますか。	4.23
8. 入学時に比べて、教育（保育・幼児教育を含む）的または心理的援助の場面で倫理的に行動することができるようになったと思いますか。	4.16
9. 入学時に比べて、教育（保育・幼児教育を含む）または心理に関する諸問題を検討するための方法を身につけることができたと思いますか。	4.48
10. 入学時に比べて、様々な立場にある人々に対する心理的または教育（保育・幼児教育を含む）的援助のスキルを修得できたと思いますか。	3.94
全項目平均値	4.29

自由回答

1. 教師論の内容が専門的というよりは、人として大切なことが多くあり、学ぶことができてよかったと思う。
2. 他学科、他学年の方と学ぶということもあり、ディスカッション等普段とは違った会話や授業も幅広い科目なので、それぞれの知識を合わせたりして面白かったです。
3. 班やグループがあると、他学科と仲良くなれて嬉しかった。
4. 単位がとりやすいものが多い。講義が面白い。

2.結果について

8つの項目において5点満点中4.1以上という結果でした。残り2項目（5、10）においては、5点満点中3.8、3.9というやや低い結果となっており、形成学科の教育の現状として「5. 文献や調査、実験などを通して導いた自分の考えを適切に表現する」ことと、「10. 様々な立場にある人々に対する心理的または教育的な援助のスキルの修得」においては、今後の改善を見据えていくことが必要かもしれません。ご検討よろしくお願いいたします。

また、自由記述の回答については、満足度の高いものでした。

授業実施評価レポート

2022 年度 心理コース・こどもコース

1. 2021 年度の状況

①成績評価アンケート

成績評価アンケートの結果は、10～25%程度の学生が「一つ二つ」の科目について、透明性、客観性、妥当性、公平性のいずれの項目についても成績評価の不满を感じているようであった。そのうち、特に透明性、客観性についての低評価がやや目立ったことに加え、妥当性の不足に関しては、3 年次の学生 1 名が複数の授業において妥当性に不足を感じていることが示された。これらのことについて、教務・共通教育部会から検討を求められた。学科において検討した結果、1 名のみが複数の授業において妥当性に不足感を抱いていることは、この学生が、教員から提示された評価基準を十分理解できていない可能性もあると考えられた。成績評価の透明性、客観性への不满が全学年でやや目立ったことも踏まえ、全体に向けてより丁寧な成績評価に関する説明をしていくこととした。

自由記述においては、5 科目について評価基準、課題の提出日、場所の具体的指示の欠如、シラバスとの相違に関する記述があった。担当教員に、シラバスで示したとおりの授業内容、評価を担保することに加え、課題の提出期限、場所は複数回具体的に指示することを依頼した。そのうち 1 科目については、担当者を変更した上で、これまでの成績評価についての学生からの指摘内容を新規担当者に伝達し、配慮いただくようにした。

②成績分布及び受講者数

成績分布について以下の通りである。

「不可」が多い科目は特になく、学生の取り組みに問題があるということは見受けられなかった。

一方、成績 S 評価が受講者の 3 分の 2 を超えていた科目は、演習・実習科目を除き 2 科目存在した。これらの科目について、教務・共通教育部会から評価方法及び成績評価方針について確認を求められた。その結果、2 科目ともこどもコースの科目であり、同一の非常勤講師が担当しているものであった。当該教員と協議したところ、受講学生の授業への取り組み姿勢が非常によく、試験を課した科目、レポートを課した科目のいずれにおいても、多くの学生の学修成果が S 評価に足るものであると判断されたということであった。そのため、こどもコースでは特に問題ないと判断した。

受講者数の極端に少ない科目も存在しなかった。

以上を踏まえ、成績分布及び受講者数については大きな問題が認められないが、成績評価の方法を再確認し、現状を維持できるようにすることが両コース会議において確認された。

(後期) 保育の計画と評価(レポート課題)、乳児保育Ⅰ(試験)

2. 2021年度レポート対応プランの結果

21年度は、以下の2点について計画し、実施してきた。

- ① 1年生に対する入学時オリエンテーションおよび、各学年の初回授業でのより丁寧な成績評価に関する説明
- ② 定期試験が実施できない場合を見据えた、適切な難易度のレポート課題の準備

①について、入学時オリエンテーションをより丁寧に実施した。各学年の科目においても成績評価に関するより丁寧な説明を初回授業において行った。しかし、今年度における成績評価アンケートにおいては、10～25%程度の学生が「一つ二つ」の科目について、透明性、客観性、妥当性、公平性のいずれの項目についても成績評価の不満を感じているようであった。そのため、さらなる改善の対応を継続して実施していくこととなった。詳細については、次項3①において述べる。

②については、緊急事態宣言等対面での成績評価の為に試験が実施できなくなる可能性を踏まえ、レポート課題等を準備していたが、実際は、対面での試験を行うことができた。

3. 対応プラン

- ① 学生に対する成績評価方法の説明及び成績評価の方法

全科目において、今後も丁寧な成績評価に関する説明を行っていく。

シラバスで示したとおりの授業内容、評価を担保する。

課題の提出期限、場所は複数回具体的に指示する。

- ② 成績分布及び受講者数への対応

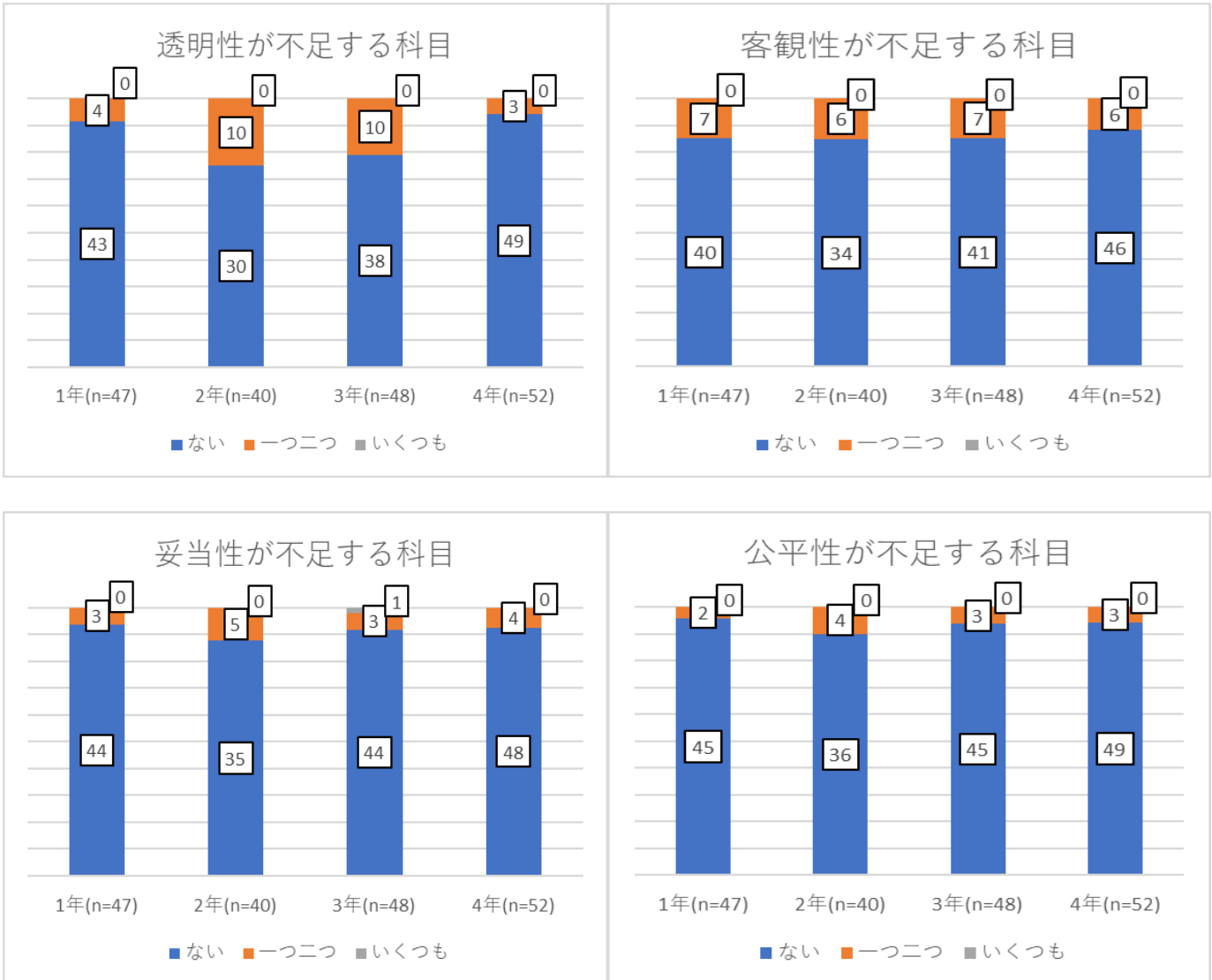
成績分布及び受講者数については大きな問題が認められなかったため、成績評価の方法を再確認し、現状を維持できるようにしていく。

添付資料

- ・人間形成学科成績評価アンケート結果
- ・人間形成学科科目成績分布及び受講者数
- ・人間形成学科カリキュラムマップ
- ・カリキュラムツリー(心理コース、こどもコース)

こども・心理コース成績評価アンケート結果報告

1.成績評価アンケートの結果



2.結果について

各質問項目について、10～25%程度の学生が「一つ二つ」の科目について成績評価の不満を感じているようです。透明性、客観性については評価の低さがやや目立ちますので、改善をご検討ください。妥当性の不足に関しては、3年次学生が1名、「いくつも」と回答しています。1名だけの学生が複数の授業において妥当性に不足感を抱いていることは、この学生が、教員から提示された評価基準を理解しきれていない可能性もありますので、より丁寧な成績評価に関する説明をしていくことが必要かと思われます。

検討すべき科目について、評価基準、課題の提出日、場所の具体的指示の欠如、シラバスとの相違など、1科目で6件の意見が寄せられたものがありましたので今後の対応のご検討宜しくお願い致します。

2022年8月8日

人間形成学科（こどもコース・心理コース） 殿

教務共通教育部会長

上野 行良

人間形成学科専門教育科目および関連科目 受講者数及び成績結果状況報告

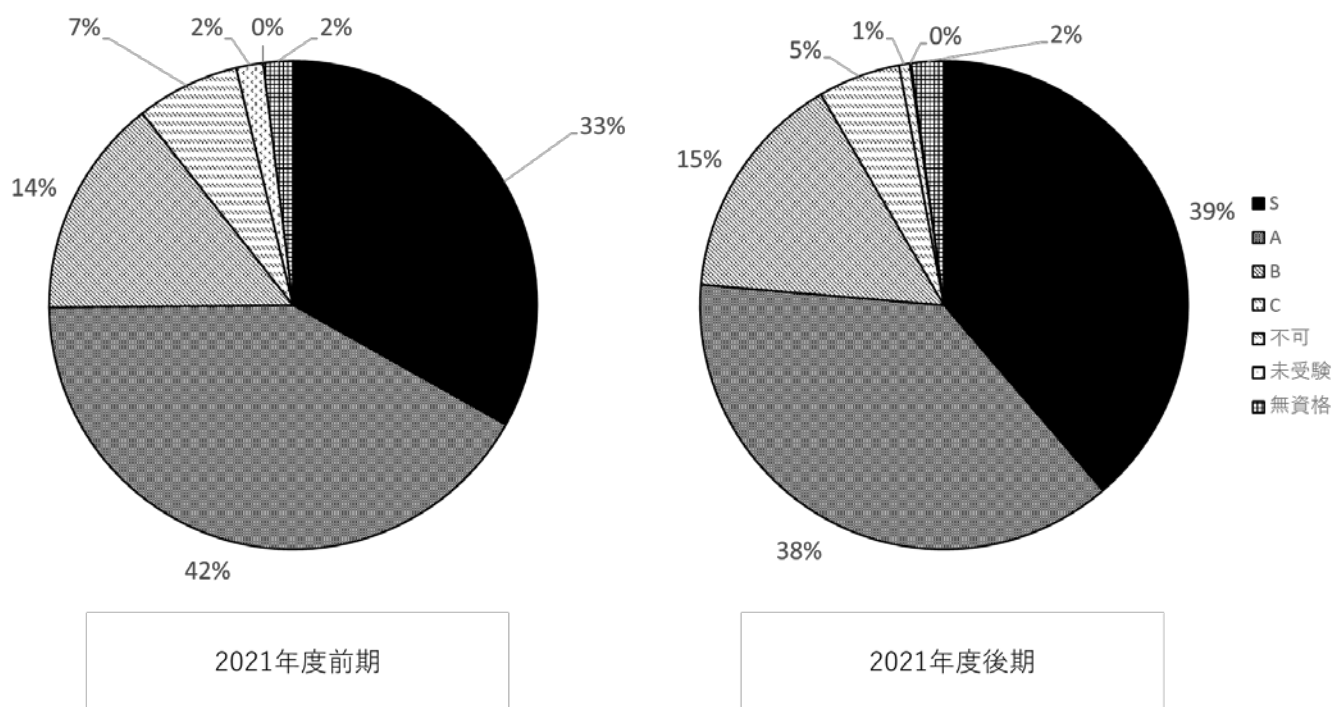
2021年度の人間形成学科専門教育科目および関連科目の受講者数及び成績結果をお知らせします。

結果について

1. 2021年度前期・後期の全科目の成績分布のグラフからは、特に問題は見出されませんでした。
2. 成績に「不可」が多い科目は特にありませんでした。参考までに、「不可」が受講者数の1割を超えていた科目は、家族心理学（4名）、精神保健学（4名）の2科目だったことを報告します。
3. 受講者数10名を超える科目において、成績Sが受講者数の3分の2を超えていた科目（演習・実習科目を除く）は保育の計画と評価、乳児保育Iの2科目でした。評価方法や成績評価方針について確認をしてください。

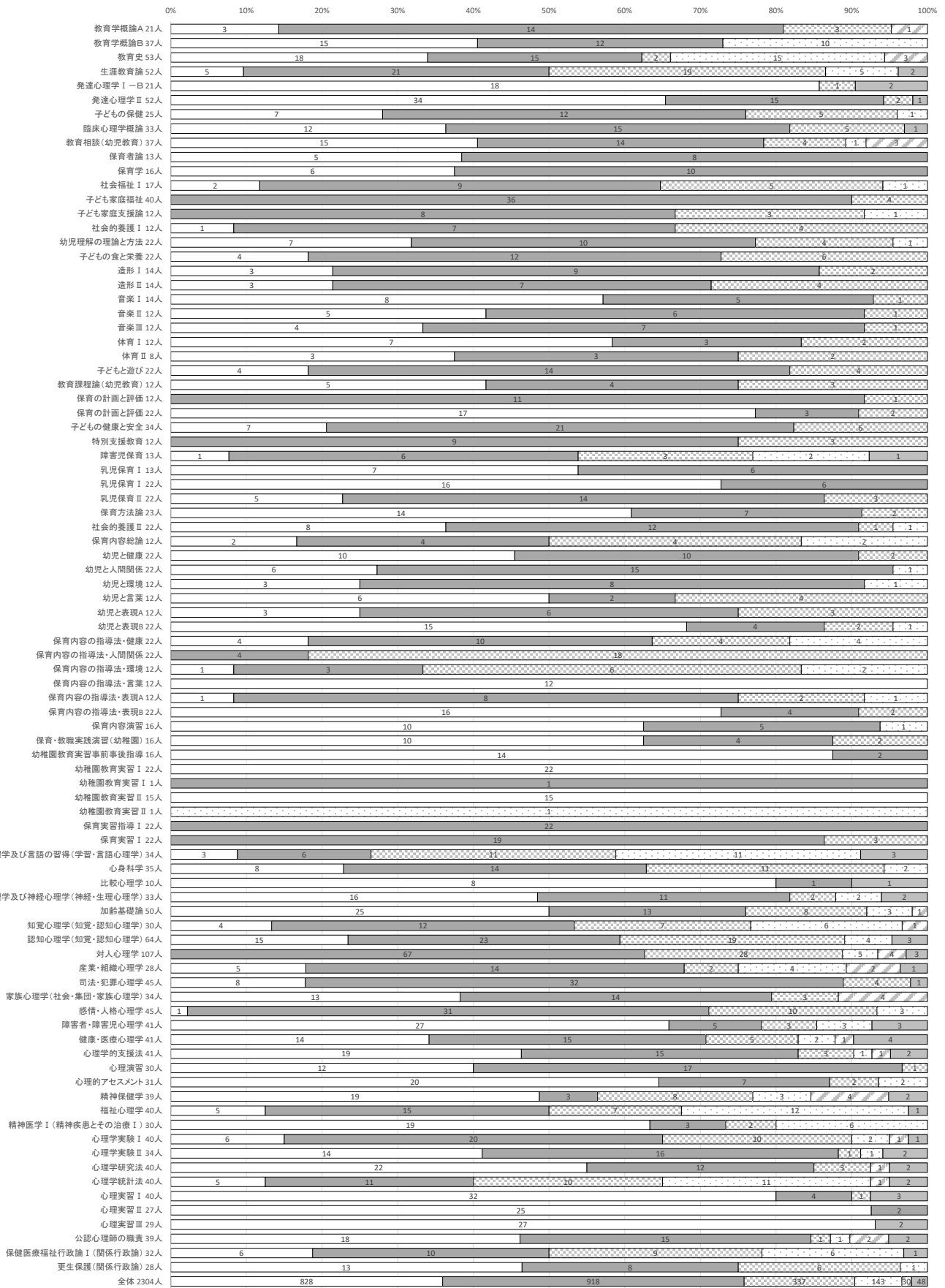
本コメントは、問題点を指摘するものではありません。問題がないかを確認し、問題がない場合はこれで妥当であることを説明できるようにしてください。改善すべき点が見いだされた場合には、具体的な対策を立てられてください。

1. 2021年度前期・後期の結果



各授業の成績分布

□S □A □B □C □不可 □未受験 □無資格



別表第6 人間形成学科専門教育科目

区分	授 業 科 目	単 位		授 業 方 法	開 講 時 期 (標 準 履 修 年 次)				備 考	DP1	DP2	DP3	DP4
		必 修	選 択		1年次	2年次	3年次	4年次					
基 幹 科 目 * 1	教育学概論A		2	講義	2				2科目いずれか・選択必修 Aは保育士・幼免必修	○			
	教育学概論B		2	講義	2					○			
	教育史	2		講義		2				○			
	生涯教育論	2		講義		2				○			
	発達心理学Ⅰ-A		2	講義	2				保育士必修	○			
	発達心理学Ⅰ-B		2	講義	2				保育士・幼免必修	○			
	発達心理学Ⅱ	2		講義	2				保育士・公認心理師必修	○			
	教育心理学概論(教育・学校心理学)		2	講義		2			公認心理師必修	○			
	子どもの保健		2	講義	2				保育士必修	○			
	臨床心理学概論		2	講義			2		公認心理師必修	○			
	教育相談(教育・学校心理学)		2	講義				2	公認心理師必修	○			
	教育相談(幼児教育)		2	講義				2	幼免必修	○			
	教育制度論(関係行政論)		2	講義			2		幼免・公認心理師必修	○			
	展 開 科 目 (こ ど も コ ー ス)	保育者論		2	講義	2					○		
保育学			2	講義		2				○			
社会福祉Ⅰ			2	講義	2					○			
社会福祉Ⅱ			2	講義			2			○		○	
子ども家庭福祉			2	講義		2				○			
子ども家庭支援論			2	講義		2				○	○		
社会的養護Ⅰ			2	講義		2				○			
幼児理解の理論と方法			2	☆演習			2		* 2	○	○		
子どもの食と栄養			2	演習			2		* 2	○	○	○	
造形Ⅰ			1	演習	1				* 2		○		
造形Ⅱ			1	演習	1				* 2		○		
音楽Ⅰ			2	演習	2				* 2		○		
音楽Ⅱ			1	演習		1			* 2		○		
音楽Ⅲ			1	演習		1			* 2		○		
体育Ⅰ			1	演習		1					○		
体育Ⅱ			1	演習			1				○		
子どもと遊び			2	講義			2		* 2	○			
保育カリキュラム論			2	講義		2				○	○		
子どもの健康と安全			1	演習		1			* 2	○	○		
特別支援教育			1	演習		1				○	○	○	
障害児保育			2	☆演習		2				○	○	○	○
乳児保育Ⅰ			2	講義		2				○			
乳児保育Ⅱ			1	演習			1		* 2	○	○		
保育方法論			2	講義			2			○			
社会的養護Ⅱ			1	演習			1		* 2	○	○	○	
子育て支援			1	演習				1	* 2	○	○		
保育内容総論			2	☆演習		2			* 2	○	○	○	
幼児と健康			1	演習			1		* 2	○	○		
幼児と人間関係			1	演習			1		* 2	○	○		
幼児と環境			1	演習		1			* 2	○	○		
幼児と言葉			1	演習		1			* 2	○	○		
幼児と表現A			1	演習		1			* 2	○	○		
幼児と表現B		1	演習			1		* 2	○	○			
保育内容の指導法・健康		1	演習			1		* 2	○	○	○		
保育内容の指導法・人間関係		1	演習			1		* 2	○	○	○		
保育内容の指導法・環境		1	演習		1			* 2	○	○	○		

	保育内容の指導法・言葉	1	演習		1		* 2	○	○	○	
	保育内容の指導法・表現A	1	演習		1		* 2	○	○	○	
	保育内容の指導法・表現B	1	演習			1	* 2	○	○	○	
	保育内容演習		2	☆演習			2 * 2	○	○	○	○
	保育・教職実践演習(幼稚園)		2	☆演習			2 * 2		○		○
	幼稚園教育実習事前事後指導	1	実習			1	* 2		○	○	
	幼稚園教育実習Ⅰ	2	実習			2	* 2		○		○
	幼稚園教育実習Ⅱ	2	実習			2	* 2		○		○
	保育実習指導Ⅰ	2	演習			2	* 2		○	○	
	保育実習Ⅰ	4	実習			4	* 2		○		○
	保育実習指導Ⅱ-A	1	演習			1	* 2		○	○	
	保育実習Ⅱ-A	2	実習			2	* 2		○		○
	保育実習指導Ⅱ-B	1	演習			1	* 2		○	○	
	保育実習Ⅱ-B	2	実習			2	* 2		○		○
心理 コース	学習心理学及び言語の習得(学習・言語心理学)	2	講義		2			○			
	心身科学	2	講義		2			○			
	比較心理学	2	講義		2			○			
	生理心理学及び神経心理学(神経・生理心理学)	2	講義		2			○			
	加齢基礎論	2	講義		2			○			
	知覚心理学(知覚・認知心理学)	2	講義			2		○			
	認知心理学(知覚・認知心理学)	2	講義			2		○			
	対人心理学	2	講義	2				○			
	社会心理学(社会・集団・家族心理学)	2	講義	2			公共社会学・社会福祉学科の「社会心理学」と共通	○			
	産業・組織心理学	2	講義			2		○			
	司法・犯罪心理学	2	講義		2			○			
	老年心理学	2	講義			2		○			
	家族心理学(社会・集団・家族心理学)	2	講義			2		○			
	感情・人格心理学	2	講義	2			公共社会学・社会福祉学科の「人格心理学」と共通	○			
	障害者・障害児心理学	2	講義		2			○			
	健康・医療心理学	2	講義		2			○			
	心理学的支援法	2	講義		2		* 3	○			
	心理演習	2	☆演習			2	* 3 演習時間: 22.5時間		○	○	
	心理的アセスメント	2	☆演習			2	* 3		○	○	
	精神保健学	2	講義	2			社会福祉学科の精神保健学Ⅰと共通	○			
	福祉心理学	2	講義	2				○			
	医学概論(人体の構造と機能及び疾病)	2	講義	2			社会福祉学科の「医学概論」と共通	○			
	老年期医学	2	講義			2		○			
	精神医学Ⅰ(精神疾患とその治療Ⅰ)	2	講義			2	社会福祉学科の「精神医学Ⅰ」と共通	○			
	精神医学Ⅱ(精神疾患とその治療Ⅱ)	2	講義			2	社会福祉学科の「精神医学Ⅱ」と共通	○			
	心理学実験Ⅰ	2	☆演習		2		* 3		○	○	
	心理学実験Ⅱ	2	☆演習		2		* 3		○	○	
	心理学研究法	2	講義		2			○			
	心理学統計法	2	講義		2			○			
	心理実習Ⅰ	1	実習		1		* 3 実習時間: 30時間		○		○
	心理実習Ⅱ	1	実習			1	* 3 実習時間: 30時間		○		○
	心理実習Ⅲ	1	実習			1	* 3 実習時間: 30時間		○		○
	公認心理師の職責	2	講義		2		* 3	○			
保健医療福祉行政論Ⅰ(関係行政論)	1	講義		1		看護学科の「保健医療福祉行政論」と共通	○				
更生保護(関係行政論)	2	講義			2	社会福祉学科の「更生保護」と共通	○				
人的資源管理論(関係行政論)	2	講義		2		* 4 総合人間社会コースの「人的資源管理論」と共通	○				
社会統計学Ⅰ	2	講義		2			○				
データ処理とデータ解析Ⅰ	1	演習			1	* 4		○	○		
データ処理とデータ解析Ⅱ	1	演習			1	* 4		○	○		
関連 科目	社会教育論	2	講義		2			○			
	図書館情報学	2	講義		(2)	2	隔年開講	○			
	国際教育文化交流論	2	講義			2		○			
	社会教育特講A	2	講義		2			○			
	社会教育特講B	2	講義			2		○			
	社会教育特講C	2	講義			2		○			
	社会教育特講D	2	講義	2				○			
	社会教育特講E	2	講義		2			○			
	キャリア論	2	講義			2	* 4	○			
	情報数学	2	講義		2		* 4	○			
	Webデザイン演習	1	演習		1		* 4		○		

ロ	プログラミング概論		2	講義		2		* 4	○			
	情報ネットワーク論		2	講義		2		* 4	○			
	データベース論		2	講義		2		* 4	○			
	プログラミング演習		1	演習			1	* 4		○		
	情報検索システム論		2	講義			2	* 4	○			
	問題解決演習		1	演習		1		* 4		○		
	組織マネジメント		2	講義			2	* 4	○			
	ビジネス倫理		2	講義			2	* 4	○			
	個人情報法制		2	講義			2	* 4	○			
	演習	2		演習			2			○	○	○
卒業論文	6		演習				6		○	○	○	

- 注1：授業方法欄の「☆演習」は、毎週1回（90分）で半期、原則として15回の授業となる。
- 2：「* 1」の基幹科目は必修科目6単位および選択必修科目2単位を含み、合計18単位の修得を卒業要件とする。
- 3：「* 2」はこどもコース、「* 3」は心理コースの学生のみ履修できる科目。
- 4：「* 4」は総合人間社会コースの科目。

1年次	2年次	3年次	4年次
-----	-----	-----	-----

保育・教育に関する基礎的理解	発達・支援方法の理解	<u>発達心理学 I-A</u> <u>発達心理学 I-B</u> <u>発達心理学 II</u> <u>子どもの保健</u>		子どもの食と栄養 幼児理解の理論と方法 臨床心理学概論	教育相談(幼児教育)
	保育・教育の基礎知識	<u>教育学概論A</u> 保育者論 社会福祉 I	教育史 生涯教育論 保育学 子ども家庭福祉 子ども家庭支援論 社会的養護 I 特別支援教育	教育制度論(関係行政論)	社会福祉 II
保育(幼児教育)内容・方法	保育内容(基礎技術)	音楽 I 造形 I	音楽 II 体育 I	音楽 III	体育 II
	保育方法	保育カリキュラム論 乳児保育 I 子どもの健康と安全 障害児保育		保育方法論 社会的養護 II 乳児保育 II	子育て支援
	保育内容(領域と指導法)	保育内容総論 幼児と環境 幼児と言葉 幼児と表現A 保育内容の指導法・環境 保育内容の指導法・言葉 保育内容の指導法・表現A		幼児と健康 幼児と人間関係 幼児と表現B 保育内容の指導法・健康 保育内容の指導法・人間関係 保育内容の指導法・表現B	保育内容演習
実習・実践演習	3年6月 保育実習 I (保育所) 3年9月 保育実習 I (施設) 3年10月 幼稚園教育実習 I 3年2月 幼稚園教育実習 II 3年3月 保育実習 II-A(保育所)または 保育実習 II-B(施設)		実習	保育実習 I・II-A/B 保育実習指導 I・II-A/B 幼稚園教育実習事前事後指導 幼稚園教育実習 I・II	総合演習 保育・教職実践演習(幼稚園)
研究	ゼミ(演習)と卒業論文		演習	卒業論文	
教養	教養科目 基礎科目	人文科学・社会科学・自然科学・総合科目 外国語(必須/選択) 情報処理・健康科学実習・基礎ゼミ			

保育士資格科目

幼稚園教諭免許科目

保育士資格・幼稚園教諭免許共通科目

学科基幹科目(下線)

2022年度 心理コース カリキュラム・ツリー (履修モデル)

			1年次		2年次		3年次		4年次	
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
心理専門科目	心のしくみを知る	学習・知覚			学習心理学及び言語の習得 (学習・言語心理学)		知覚心理学 (知覚・認知心理学)	認知心理学 (知覚・認知心理学)		
		生理			心身科学 比較心理学	生理心理学及び神経心理学 (神経・生理心理学) 加齢基礎論				
	心を支える	発達・教育	発達心理学 I-A 発達心理学 I-B	発達心理学 II		教育心理学概論 (教育・学校心理学)		老年心理学		
		臨床			障害者・障害児心理学 心理実習 I	公認心理師の職責 健康・医療心理学 司法・犯罪心理学 心理実習 I 心理学的支援法	臨床心理学概論 心理実習 II	心理演習 心理的テスト 心理実習 III	教育相談 (教育・学校心理学) 教育相談 (幼児教育) 心理実習 III	
		医学・保健	精神保健学	医学概論 (人体の構造と機能及び疾病) 福祉心理学			精神医学 I (精神疾患とその治療 I)	精神医学 II (精神疾患とその治療 II)		
	人と関わる	社会・産業	対人心理学	社会心理学 (社会・集団・家族心理学)				産業・組織心理学	家族心理学 (社会・集団・家族心理学)	
	心理学の基礎を学ぶ	基礎知識	心理学概論	感情・人格心理学						
		研究法・統計			心理学統計法 社会統計学 I	心理学研究法	データ処理と データ解析 I	データ処理と データ解析 II		
		実験・演習			心理学実験 I	心理学実験 II	心理学演習 (ゼミ)		卒業論文	
	隣接領域科目	いろいろな見方・考え方を学ぶ	学科基幹科目 (心理専門科目以外)	教育学概論 B	子どもの保健	教育史	生涯教育論		教育制度論 (関係行政論)	
学科展開科目 学科関連科目			社会福祉 I	社会教育特講 D	障害児保育 子ども家庭福祉	社会教育論 社会教育特講 E 人的資源管理論 保健医療福祉 行政論 I	社会教育特講 B	更生保護 子ども家庭支援論 キャリア論	社会福祉 II	
他学科開設科目 両学部で学ぶ 専門的連携科目			社会福祉学概論 I 不登校・ひきこもり 援助論 社会調査法	社会福祉学概論 II	社会病理学 家族社会学 A	家族社会学 B				
基礎科目：学ぶ基礎づくり		基盤教育科目	人文科学・社会科学・自然科学・総合科目・外国語 (必須/選択)・情報処理・健康科学・基礎ゼミ							

※ 太字は基幹科目 (こども・心理コースに共通の基礎となる科目) を意味する

※ 更新日: 2022.6.14